

企画セッション： F2I

安否確認システムの共同開発・共同運用

企画部会： クラウド部会

オーガナイザー： 梶田 将司（京都大学情報環境機構）

セッション：

安否確認システム仕様（案）

○ロール

1. 安否確認対象者（一般ユーザ）
2. 部局担当者
3. 安否確認実施担当者
4. システム管理者

○ユースケース

1. 安否確認対象者（一般ユーザ）
 - 1-1. ユーザ認証 (ID, メールアドレス, 任意)
 - 1-2. 安否情報登録 (身体の状態, 現在の連絡先, 大学への連絡事項, ...)
 - 1-3. 安否情報検索 (3 件まで)
2. 部局担当者
 - 2-1. 安否確認対象者としての機能が利用可能
 - 2-2. 安否確認対象者一覧の作成
 - 職名指定 (教授, 准教授, 学部生, 大学院生, 職員, 技術職員, ...) による登録
 - 指定された ID による登録
 - 一覧表示情報:
 - 所属部局 (省略可), 職名, 職員番号, 氏名, 最新安否情報, 安否情報入力日時
 - 一覧作成日時を管理
3. 安否確認実施担当者
 - 3-1. 安否確認対象者としての機能が利用可能
 - 3-2. 部局担当者としての機能が利用可能
 - 3-3. 部局担当者の参照・登録・抹消 (ID 単位)
 - 3-4. 部局別の安否確認状況の集計
 - 集計の起点日時を指定
 - 表示内容: 教員, 職員, 学生, その他, 全体を % 表示
 - 指定した職名の集計も可能
 - 職名の判断は LDAP 参照により解決
 - 集計期間の設定も可能
 - 起点なし: 過去すべて

- 終点なし: 当日
 - 集計時点の所属・身分を使用 (安否情報入力時のものではない)
- 3-5. 安否情報未入力者へのメール送信機能
- メッセージの作成・送信
 - 送信対象の設定
 - 送信先は登録されたメールアドレス
- 3-6. 部局担当者へのメール送信機能
- メッセージの作成・送信
 - 送信対象の設定
 - 送信先は登録されたメールアドレス
4. システム管理者
- 4-1. 安否確認対象者としての機能が利用可能
 - 4-2. 部局担当者としての機能が利用可能
 - 4-3. 安否確認実施担当者としての機能が利用可能
 - 4-4. 安否確認対象部局の登録・編集・改廃
 - 4-5. 部局担当者, 安否確認実施担当者が行った操作ログの参照

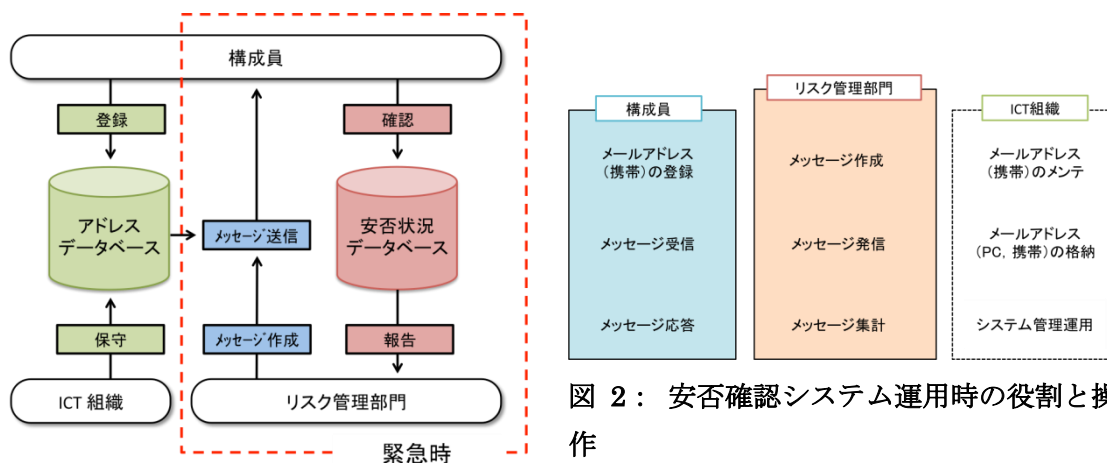


図 1: 安否確認システムのワークフロー

図 2: 安否確認システム運用時の役割と操作

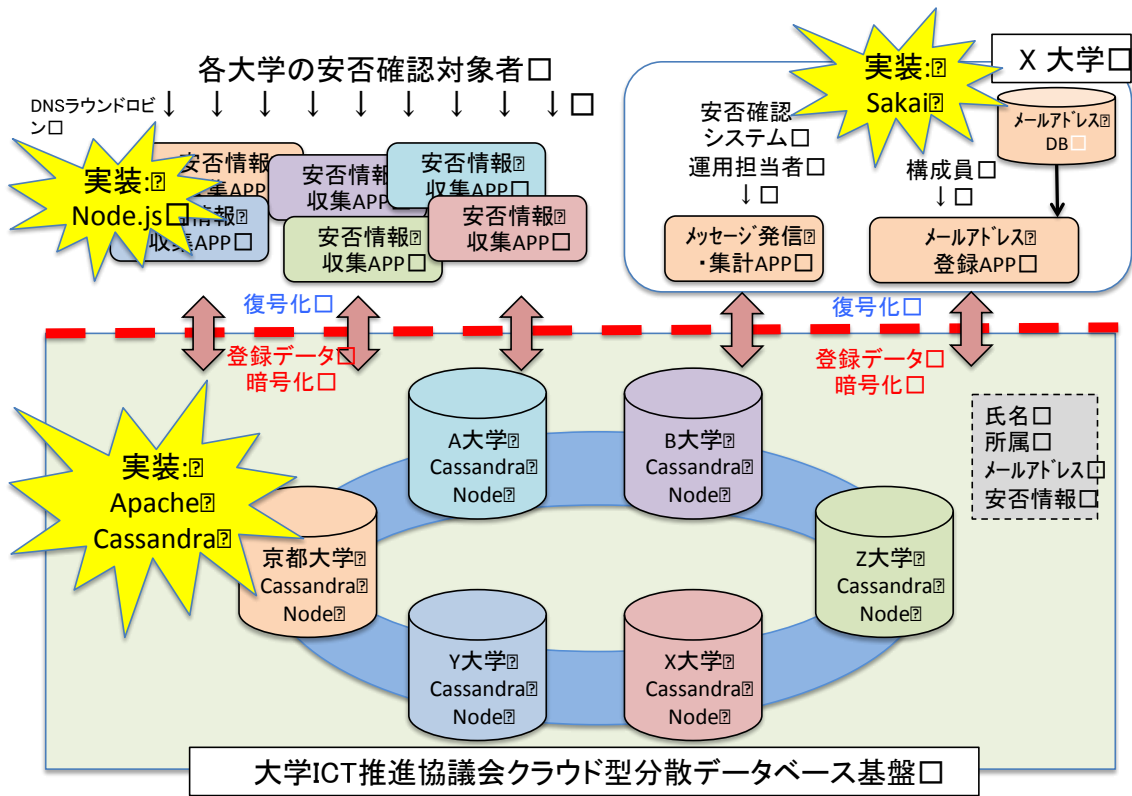


図 3: 安否確認システムの実装イメージ